

平成28年7月22日

平成28年度病害虫防除技術情報（第2号）

和歌山県農作物病害虫防除所

水稻のいもち病の発生状況について

1. 調査地域 県内全域
2. 調査時期 7月中旬
3. 調査結果
  - 1) 7月中旬の葉いもちの発生ほ場率は、県北部で47%（平年15%）、県中部で86%（平年26%）、県南部で50%（平年29%）であった（表1）。
  - 2) 7月中旬の葉いもちの発病株率は、県北部で7.5%（平年3.4%）、県中部で19.4%（平年6.3%）、県南部で3.3%（平年8.5%）であった（表1）。
4. 発生予想
  - 1) 大阪管区気象台の近畿地方1か月予報（7月16日から8月15日までの天候見通し）によると、向こう1か月の降水量は平年並または多い確率ともに40%、日照時間は平年並または少ない確率ともに40%であり、いもち病の発生に好適な気象条件が続くと予想されるため、現在葉いもちの発生がみられるほ場では穂いもちに進展する可能性がある。

表1 葉いもちの発生状況(7月中旬)

作型	地域	発生ほ場率(%)			発病株率(%)			
		平成28年	平成27年	平年	平成28年	平成27年	平年	
普通期	県北部	山間	50	100	38	36.0	52.0	12.7
		中山間	67	0	11	2.7	0.0	1.4
		平坦	42	50	12	4.0	15.7	2.3
		平均	47	47	15	7.5	17.2	3.4
普通期	県中部	山間	100	0	20	4.0	0.0	1.2
		中山間	50	50	40	22.0	20.0	10.6
		平坦	100	0	21	28.0	0.0	6.5
		平均	86	14	26	19.4	5.7	6.3
早期	県南部	山間	100	50	48	8.0	8.0	21.1
		中山間	50	50	22	2.0	22.4	3.5
		平坦	0	100	20	0.0	10.0	1.6
		平均	50	67	29	3.3	12.8	8.5

5. 防除上の注意事項

- 1) 葉いもちの発生が認められる場合は早めに防除する。
- 2) 穂いもちの防除適期は穂ばらみ期～穂揃い期であるので、必要に応じて追加防除する。
- 3) 農薬については、最新の登録情報（（独）農林水産消費安全技術センター・農薬登録情報提供システム [http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)）を参照し、適正に使用する。薬剤によって使用時期が異なるので注意する。

担当：農作物病害虫防除所  
菱池、大谷  
電話：0736-64-2300